

## 2019 年度 部局 FD 活動報告

高等教育推進機構

1. FD 活動の実施体制、取り組みの概要			
・機構 FD 委員会が機構全体の FD 活動を実施するとともに、科目グループごとに教育改善のための話し合いと実践を行っている。			
・本年度は機構独自の FD セミナーを 1 回実施し、多数の機構所属教員が参加した。			
2. FD に関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況			
開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数
8 月 1 日	ICT を活用した能動的学習について	セミナー	31
3. FD に関する会議、委員会の開催状況			
会議・委員会名	内容	回数	委員数
機構 FD 委員会	機構全体の FD 活動を企画、実施	8	9
初修外国語グループ 定期会議	FD に関する情報交換と議論	10	7
健康・スポーツ 担当者会議	授業展開、採点基準、学生対応について協議、積極的な FD 活動の促進	3	5
教養、健康・スポーツ、資格、 FD、地域再生合同分野会議	成績評価（GPC）の情報共有、FD に関する情報交換	2	15
数学・専門基礎科目 ミーティング	授業の進め方、成績評価の仕方、試験内容などの話し合い	2	約 20
4. FD 活動への各教員の参加状況			
※ 前項のセミナー・委員会等への参加の他、教授会後に実施している勉強会等への出席や、分野内で成績分布について確認・検討する機会を設けている場合なども含みます。			
教員数（実数）	48 人 ／ 61 人中		
5. ピア授業参観実施状況			
期間	公開授業数	参観者数	特記事項
前期	8	4	・機構長教育奨励賞受賞者に授業公開を依頼し、特に新しく着任した教員に積極的に案内したが、今年度後期は参観が無かった。
後期	5	0	
年度 合計	13	4	
6. その他取り組みの具体的実施状況			
・高等教育推進機構で開設している全科目を対象として、ポートフォリオ（授業ふり返り）データを基に、優れた授業を実践している 10 名の先生方を選出して機構長教育奨励賞を授与した。学生の学びと理解を促しているかどうかを判断材料に加えることにより、学生の満足度に偏らないような選考方法とした。			

- ・機構開設科目の GPC について、科目グループごとに検証作業を行い、機構 FD 委員会で報告した。

#### 《科目グループによる活動》

##### <教養>

・合同分野会議において、成績評価（GPC）について教員間で情報を共有し、特に問題が無いことを確認した（2回）。

- ・初年次ゼミナールの成績評価（GPC）についてマネージャー3名で情報を共有した。

##### <英語>

1. A graduate-level English Academic Writing course was offered in semester one to graduate students with the aim of improving their advanced research writing skills in English.
2. Implementation of TOEIC testing for first- and second-year students in April and December 2019; Data was collected and student performance was monitored.
3. In addition to the regular curriculum a TOEIC test preparation course was held.
4. Information briefing sessions for Part-time Staff were held during the year: A departmental part-time teacher's meeting was held one week before the start of the semester in April 2019.
5. Informal and voluntary gatherings between part-time native English-speaking teaching staff are usually held three times each year. Firstly, after the departmental part-time teacher's meeting which is held one week before the start of the first semester; secondly, as a social gathering in July and in January, at the end of the second semester.  
At each of these gatherings teachers have a chance to raise, discuss and exchange ideas on the development of teaching practices leading to writing and presentation outcomes of the semester, along with personnel issues relating to student welfare and classroom management. Further to these meeting, teachers regularly gather at lunch times on teaching days where they are able to discuss and share ongoing teaching practices and other related issues throughout the semester.
6. The English Cafe program is offered to all OPU students for 90 minutes, twice a week on Tuesdays and Thursdays for eight weeks in both the Spring and Fall semesters. This program provides an opportunity for students of all abilities to develop their English language communication skills and confidence in an informal setting. The English Cafe program is facilitated by three excellent teachers and four enthusiastic student teaching assistants who encourage and facilitate conversation. This program features both teacher and student presentations on a wide range of topics including study, educational topics, travel, culture, hobbies and interests that all assist in building and creating well-rounded English language abilities. It also features games, quizzes, a Christmas party and other activities that encourage student interaction. Students attending include international students visiting OPU, students from Habikino and Rinku Town campuses, students visiting from other Japanese universities, and members of the public.
7. A range of seminar courses in academic writing, advanced academic reading, advanced listening, presentation and speaking, media English, intercultural communication and exam practice for English Proficiency Tests were offered to further improve students' English ability.
8. Pre-departure Orientation courses were offered for students attending intensive English Language

Study Abroad Programs in the USA, UK and Australia. Study Abroad Guides were produced for the programs at Monash College, Australia, University of California Irvine in the USA, Concorde International in Canterbury, UK. Research is on-going into maximizing the experience overseas for students participating in these programs. Post-return presentations were conducted for students returning from the UK and the USA and Australia, and students completed a report and evaluation of their experiences.

#### <初修外国語>

令和1年度に初修外国語グループの教員教育能力向上はもちろん、授業時間外学習時間増、授業改善を初修外国語FDの目標とした。これらの目標にそって、以下の活動を行った。

- ・授業で使用されている教材のブラッシュアップ（全言語）
- ・ICTを活用した教材の使用（音声付き教材、音声入力、学生による動画作成）（中国語）
- ・新入生に対する初修外国語概要とカリキュラムを説明するパンフレットの配布（全言語）
- ・全クラスで1年次終了時に2年次の中級クラスの紹介（全言語）
- ・授業支援システム等を利用して自習用教材を配付（全言語）
- ・検定試験の情報提供と検定試験受験の支援（全言語）
- ・FDセミナーに参加（全言語）
- ・メーリングリストを通じて非常勤講師に教育力向上に役立つ情報を提供（全言語）
- ・国内外のシンポジウムやワークショップ等への参加もしくは発表（全言語）
- ・海外語学研修の実施（フランス語と朝鮮語）

なお、初修外国語グループの定期会議（月1回）でFDに関する情報交換と議論を行った。

#### <健康・スポーツ科学>

- 1) 健康・スポーツ科学概論、教養科目、教養展開科目、CR副専攻科目の講義科目については、受講生が生涯にわたる健康に関する知識や実践力を獲得できるよう、各教員が個々の専門領域を中心として講義を行った。堺市との連携による学外授業ならびにカヌー体験を取り入れ、体験型授業展開にも注力した。
- 2) 健康・スポーツ科学演習科目は、受講生の主体性を重んじ、授業内容を柔軟に変更し展開した。このことから要望に対応した授業展開、設備・教材などの整備を行った。その結果、充実した授業展開ができ、受講生からも高い評価を受けた。
- 3) 授業の達成目標を明確にし、健康の維持・増進手段と学生間の積極的コミュニケーションづくりに注力し、毎回活発な授業展開が行えた。
- 4) 本学FDセミナーへの出席および分野での情報共有を実施した。

#### <理科>

- ・SEL教室：引き続き、接続教育教材を提供した。
- ・科目運営、成績評価：

定期的、或いは必要に応じて担当教員間の情報交換をおこない、授業を実施した。

成績評価について教員間で情報を共有、協議しつつ成績評価を行ない、評価の公平性を確保した。

同一学類で複数クラスを開講している講義科目について、評価の公平性を確保するだけでなく、講

義内容も同一とするため、一部の開講科目について、複数の教員が特定の講義範囲を分担し、同一教員が同一内容を複数のクラスで講義し評価した。

・学生実験：

前年度に実験機器の更新、新たな導入した機器を用いた実験テーマを実施した。

同一学類で複数クラスを開講している実験科目について、評価の公平性を確保するだけでなく、実験指導内容も同一とするため、複数のクラス・グループに対して、同一教員が特定の実験テーマを分担して指導し、評価した。

学修に困難を抱える学生について、アクセスセンターの協力を得ながら、担当教員間で情報を共有して、対処をおこなった。

<数学>

・専門基礎科目ミーティングを実施し、授業の進め方、成績評価の仕方、試験内容などについて話し合った。

・数学質問受付室を引き続き設けた。

・機構数学教員の所属変更による研究室移動にともない数学質問受付室の分担割り当ての適正化を行った。

・生命環境科学域の数学Ⅰ・Ⅱの教科書を工学域と共通に使っているものからより科目内容にふさわしいものへ変更を行った。